

	小学生との交流 収穫祭 バスでGO！（5歳児） お楽しみ会 秋の健康診断(敦賀医療センター小児科)	3歳児・・・ 0・1・2歳児・・・園周辺 体育大会の様子を遠くから応援する サツマイモ堀りを各クラスでする 各クラスで野菜等の収穫を祝う 園外保育（バスに乗って松原海岸散策） サックス奏者を招き、打楽器や管楽器演奏に親しむ 内科検診
11月	保育懇談（3歳児） やさいも会 幼年防火教室 バスでGO！（4・5歳児） バスでGO！（3歳児） ありがとうの会	我が子の園での様子を担任から聞き懇談をする（希望制） 収穫したさつま芋を各クラスで味わう 消防士から防火にまつわる話を聞き防火の意識を高める。消防士の体験をする 園外保育（バスに乗りあっとほうむへ異年齢交流） 園外保育（バスに乗りキッズパークへ） 身近で働いてくれる人に感謝する会（調理師・地域の方）
12月	生活発表会 みかん狩り つねがサンタ クリスマス会 もちつき会	保護者を2日間にわけて実施。普段のあそびの中から発表へつなげていく 地域の方の農園に招待され収穫したみかんを味わう 非営利団体主催 つねが君と一緒に触れ合い写真撮影 各クラスで実施。クリスマスのお話を聞き、歌ったり踊ったり楽しんだあとサンタさんにプレゼントをもらう 各クラス入替制にて杵つきもちの体験、きなこもちにして食べる
1月	おめでとうの会 お正月遊び 鏡開き	各クラスで新年のあいさつを交わす 各クラスで伝統的な遊びを楽しんだり遊び方を教えてもらう おかがみをいただきながら、各クラスで伝統的な行事について知る
2月	節分 豆まき 春のお茶会 コマまわし大会(2・3・4・5歳児) 親子のつどい(5歳児) 新入園児健康診断	各クラスで節分の話の聞いたり、豆まきをする 各クラス入替制で点てたお茶を味わい、春の気配を感じる 各クラストーナメント入替制でコマまわしを競う 親子で保育園最後の思い出を作る（参観型にて実施） R4年度の入園予定児の内科健診（時間指定にて実施） 入園に当たっての不安等、短時間で聞き取りをする
3月	ひなまつり会 お別れ会 バイキング給食やおやつパーティー かくれんぼ大会 卒園式 進級式	各クラスでひなまつりの話を聞く ひなまつりにちなんだゲームをして雰囲気を楽しむ 年中組の進行で歌や出し物をし、年長児に楽しんでもらう（各クラス入替制） リクエストメニュー、おやつを各クラスで一緒に食べる 園舎全体を使ってかくれんぼを異年齢にて楽しむ 年長児21名卒園 一つ上のクラスになる賞状と名札をもらう（入替制）
毎月	・身体計測 ・誕生会（子どもの誕生日に合わせて）月1回各クラスで実施 ・避難訓練 ・おたのしみ会	・交通安全指導
子育て支援・親支援	・園庭開放（晴天時：平日の午前中） ・オープン保育園 ・一日体験保育 ・つぼみくらぶ（毎週水曜日：地域の在宅親子） ・保育士体験事業（毎日保育参加）	・おたより発送（園・クラス・ほけん・給食） ・ブログ（こどもん）発信
異年齢保育	・なかよしグループを作り、給食を食べたり、一緒に遊んだりする（おひさまのひ）	
交流保育	・小学生との交流（保幼小連携事業）	
地域との交流	わくわくのつどい・・・祖父母や地域の方にいろいろ教わったり、遊んだりする	
その他	保育実習生・ボランティアの受け入れ交流 地域の保育士との交流 小学校教諭との交流会（保幼小接続推進事業） パラレル指導訪問、保育カウンセラー訪問 作業療法士訪問、食育巡回指導	

(5) 苦情件数 0件

IV. 地域福祉サービス等事業

1. 敦賀市自立促進支援センター

1. 施設の概要

- (1) 事業所名称 敦賀市自立促進支援センター
- (2) 所在地 敦賀市神楽町1丁目3番20号
- (3) 事業名 敦賀市生活困窮者自立支援事業（平成27年4月1日受託）
- (4) 目的 本事業は、生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）に基づき、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状況に応じた包括的な相談支援等を実施することにより、経済的社会的自立に資することを目的に実施するものである。
- (5) 利用対象者 現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者であって、原則として市内に在住している者

(6) 事業内容

ア. 自立相談支援事業

- ・常設の窓口を開設し、生活困窮者に対して広く相談を行うとともに、生活困窮者が抱えている課題を多面的に把握し、本人の状況や意思を十分に確認した上で対象者ごとに適切な支援計画（以下「プラン」という。）を策定する。
- ・プランに基づく様々な支援が始まった後も、それらの効果を適切に評価・確認しながら、適切な就労支援も含め、本人の自立までを包括的かつ継続的に支援する。
- ・複合的な課題を抱える生活困窮者を早期に把握するために、地域での見守り体制を関係機関によりネットワーク作りを行うとともに、地域に不足する社会資源の開発及び地域づくりを行う。
- ・住居確保給付金の申請受付等を行う。
- ・一時生活支援事業の申請受付等を行う。
- ・生活保護世帯及び自立相談支援事業においてプランが作成されている生活困窮者世帯に属する小中学生について、高等学校進学のための学習支援を行う。

イ. 就労準備支援事業

- ・社会参加に必用な生活習慣の形成や回復のため、定時に起床、出勤する習慣づけや挨拶、言葉遣いなどの訓練を行い、自らの健康、生活管理を行う意識の醸成を図る。
- ・就労の前段階として、社会的つながりの重要性の認識と就労意欲の喚起を図るため、訓練を受けている者同士が協力して業務を行うこと及びボランティア活動への参加などの訓練を行い、社会参加能力の習得を目指す。
- ・継続的な就労訓練の場を提供し、一般就労に向けた自覚を喚起させ求職活動に向けた準備を行う。

(7) 職員	センター長	1名	(兼務)
	主任相談支援員	1名	
	相談支援員	2名	(令和4年3月から1名増)
	就労支援員	1名	

2. 令和3年度事業実施内容

(1) 利用者状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
新規相談受付件数（総数）		11	15	23	13	17	18	10	14	9	8	7	12	157
プラン作成件数（総数）		0	4	3	5	2	0	3	1	3	1	2	1	25
法に基づく事業 等利用件数	住居確保給付金	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0	2	1	11
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	就労準備支援事業	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	自立相談支援事業による就労支援	0	3	3	2	1	0	3	1	3	0	2	1	19
その他	生活福祉資金等による貸付	0	3	1	2	0	0	2	1	1	0	1	1	12
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1	8
就労者数（一般就労総数）		0	2	0	0	3	0	2	1	2	1	0	1	12

学習支援（さくら学習教室）

北公民館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	4	3	2	2	1	2	2	2	1	2	0	1	22
のべ人数	4	3	2	2	1	2	2	2	1	2	0	1	22

学習支援スタッフ登録者 1名

利用申込者 1名

松原公民館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	3	4	3	3	4	3	2	3	3	2	3	2	35
のべ人数	3	4	3	3	4	3	2	3	3	2	3	2	35

学習支援スタッフ登録者 1名

利用申込者 2名

(2) 相談等利用状況（延べ相談者数 2,123人）

窓口来所 734件

電話相談 1,836件

訪問 480件

苦情受付 0件

(3) 職員の派遣依頼及び派遣状況

- ・二州健康福祉センター「悩みごと総合相談会」 相談員
- ・福井県内法人連携協議会 生活困難者総合相談・支援事業担当者養成研修 講師

(4) その他の取組み

- ・住宅セーフティネット機能強化・推進事業の取組み協議の出席
- ・フードバンクモデル事業（フードバンク商品の一時預かり）の協力
- ・緊急食糧支援事業を活用した緊急食糧の配布